科目名	作詞・作曲1							年度	2026
英語科目名	Songwriting and Composition 1							学期	前期
学科・学年	ミュージックアーティスト科 1年次	必／選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	RINA MOON		教員の実務経験		有	実務経験の職種		作詞家	

【科目の目的】

個人のアーティスト活動やオーディションでパフォーマンス出来る、オリジナル楽曲を制作できるようになることを目的とする。メロディ作り、コード付け、作詞など音楽制作を行う上で必要不可欠なスキルを幅広く学び、授業内で制作した楽曲は、修了・卒業ライブなどで発表する。

【科目の概要】

「作曲」と「作詞」の二軸を中心とし授業を進めていく。音楽基礎など他の授業で学んだことが作曲とどのように関わり、どう活かしていけるのかを実際に試行錯誤しながら音楽制作を学んでいく。
また、楽器を演奏できる学生は楽器を用いながら、そうでない学生はクリエイターの学生とペアを組むなどしてメロディーとコードを作成することも可能。イントロ、A、B，サビなどのJ-POPのひな形を理解し、リファレンスとなる構成を決めて制作を進めていく。

【到達目標】

A.音域(声域)について理解できる
B.メロディのアプローチ方法を理解できる
C.リズムのアプローチ方法を理解できる
D.楽曲の構成について理解できる
E.メロディを作成できる

【授業の注意点】

専門学校は出席率100%が基本であるため、理由のない遅刻や欠席は認めない。
教員の指示がない限り、授業と関係のない携帯電話・スマートフォンの使用を認めない。
授業時限数の４分の３以上出席しない者は定期試験・評価課題を受験することができない。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック 評価	レベル５ 優れている	レベル４ よい	レベル３ ふつう	レベル2 あと少し	レベル１ 要努力
到達目標 A	音域(声域)について理解でき、実際に活用できる		音域(声域)について理解できる		音域(声域)について理解できない
到達目標 B	メロディのアプローチ方法を理解でき、実際に活用できる		メロディのアプローチ方法を理解できる		メロディのアプローチ方法を理解できない
到達目標 C	リズムのアプローチ方法を理解でき、実際に活用できる		リズムのアプローチ方法を理解できる		リズムのアプローチ方法を理解できない
到達目標 D	楽曲の構成について理解でき、実際に活用できる		楽曲の構成について理解できる		楽曲の構成について理解できない
到達目標 E	一曲全体のメロディを作成できる		メロディを作成できる		メロディを作成できない

【教科書】

【参考資料】

【成績の評価方法・評価基準】

試験・課題　70%　課題毎に提出。検定試験の受験・点数により評価
成果発表　20%　授業内に行われるロールプレイング・グループワークにより評価
平常点　10%　積極的な姿勢

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名	作詞・作曲1	年度	2026
英語表記	Songwriting and Composition 1	学期	前期

回数	授業テーマ	各授業の目的		授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	作曲①	作曲スキル上達のための習慣を学ぶ	1	ボイスメモ	ボイスメモの重要性を理解できる		
			2	楽器に触れる	楽器に触れることの重要性を理解できる		
			3	DTMに触れる	DTMに触れることの重要性を理解できる		
2	作曲②	メロディを1フレーズ作る	1	メロディ作成	メロディを１フレーズ作成できる		
			2	譜面に書き起こす	作成したメロディを記譜できる		
			3	キーを確認する	キーを確認できる		
3	作曲③	作ったメロディを展開する	1	メロディの展開	作成したメロディの展開ができる		
			2	類似したフレーズ	類似したフレーズを使うことができる		
			3	連続したフレーズ	連続したフレーズを使うことができる		
4	作曲④	音域を決める	1	自分の声域	自分の声域について理解できる		
			2	楽器の音域	楽器の音域について理解できる		
			3	移調	メロディを移調して自分に合った調にできる		
5	作曲⑤	メロディのアプローチ方法を学ぶ	1	同じ音の連続	同じ音を連続させたメロディを作れる		
			2	音の上下運動	音が上下運動するメロディを作れる		
			3	順次進行と跳躍進行	順次進行と跳躍進行について理解できる		
6	作曲⑥	メロディのアプローチ方法を学ぶ	1	調性感のある音	調性感のある音について理解できる		
			2	主音(トニック)	主音(トニック)の響きと特徴を理解できる		
			3	調性感のない音	調性感のない音について理解できる		
7	作曲⑦	リズムのアプローチ方法を学ぶ	1	ビートの違い	ビートの違いによる変化を付けられる		
			2	シンコペーション	シンコペーションについて理解できる		
			3	ポリリズム	ポリリズムについて理解できる		
8	作曲⑧	リズムのアプローチ方法を学ぶ	1	リフレイン	リフレインについて理解できる		
			2	3連符	3連符について理解できる		
			3	ロングトーン	ロングトーンについて理解できる		
9	作曲⑨	全体の構成を決める	1	コーラス	コーラス(サビ)について理解できる		
			2	ヴァース	ヴァース(Aメロ)について理解できる		
			3	ブリッジ	ブリッジ(Bメロ)について理解できる		
10	作曲⑩	セクション毎に差をつける	1	音域の差	音域の差を付けることができる		
			2	音数の差	音数の差を付けることができる		
			3	音の上下運動の差	音の上下運動の差を付けることができる		
			1	メロディ作成	コーラスのメロディ作成ができる		

11	作曲⑪	コーラス(サビ)を完成させる	2	メロディ添削	コーラスのメロディ添削ができる		
			3	メロディ修正	コーラスのメロディ修正ができる		
12	作曲⑫	ヴァース(Aメロ)を完成させる	1	メロディ作成	ヴァースのメロディ作成ができる		
			2	メロディ添削	ヴァースのメロディ添削ができる		
			3	メロディ修正	ヴァースのメロディ修正ができる		
13	作曲⑬	ブリッジ(Bメロ)を完成させる	1	メロディ作成	ブリッジのメロディ作成ができる		
			2	メロディ添削	ブリッジのメロディ添削ができる		
			3	メロディ修正	ブリッジのメロディ修正ができる		
14	作曲⑭	代表的な作曲方法を学ぶ	1	歌詞先行作曲	歌詞先行の作曲方法を理解できる		
			2	メロディ先行作曲	メロディ先行の作曲方法を理解できる		
			3	同時進行	同時進行による作曲方法を理解できる		
15	発表会	前期に制作した作品(メロディ)を発表する	1	プレゼンテーション	自分の作品をプレゼンできる		
			2	批評	他者の作品を批評できる		
			3	講評	講師から講評をもらい、新しい課題を設定できる		

評価方法：1.小テスト、2.パフォーマンス評価、3.その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等